

# 墨田区のお知らせ2011.8.1

NO.1646  
(毎月1日・11日・21日発行)

# すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) ☎5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2・3面…魅力あふれる、すみだに出掛けよう!
- 4・5面…心身障害者福祉手当等
- 6面…すこやかライフ
- 7・8面…講座・教室・催し・募集

## すみだと全国の旬間歳時記

●8月1日～7日：水の週間  
水資源の有限性などについて普及・啓発を行うため、昭和52年に政府が、8月1日を「水の日」と、その日からの1週間を「水の週間」と制定。区では、事前に登録した団体が「水の週間」中に実施する「打ち水」へ参加した方に、「すみだエコポイント」を付与する。

<http://www.city.sumida.lg.jp/>



## 地域に息づく伝統を感じよう

### すみだ郷土文化資料館企画展

# 神輿師・志布景彩

すみだ郷土文化資料館では、区登録無形文化財の技術認定保持者であった、神輿師の志布景彩氏をご紹介する企画展を、9月25日まで開催しています。志布氏が伝統の技で作った神輿を見て、その神輿がまちの誇りとして区内で受け継がれている様子を知ることができます。ぜひ、お越しください。

## すみだの歴史と伝統を資料館で再発見

すみだ郷土文化資料館では、区民の皆さんに、歴史と伝統を持つ「すみだの文化」への理解を深めていただくことなどを目的として、様々な企画展を開催しています。

今回の企画展では、区登録無形文化財の技術認定保持者であった、神輿師の志布景彩氏を取り上げます。

神輿師とは、神輿の原型となる木地部分の製作や、各部の彫刻・金属

装飾のデザインの決定を行った後、各分野の職人たちの技を結集して神輿を完成させる、「神輿の総合プロデューサー」というべき職人です。

志布氏は、東向島四丁目に住居・工房を構え、生涯で2000基以上もの神輿の造営・修復などに携わりました。また、「粋な神輿」「姿の良い神輿」をめざし、木地に独自の寸法を考案するなど、神輿の全体的な印象や見栄えに様々な工夫を凝らしています。それらの技術は高く評価され、褒章を受章するほどでした。

## “職人のまち すみだ”ならではの企画展

区内に現存する、志布氏が造営した神輿は3基あり、白鬚神社の氏子である北凧子・中凧子・巴凧子に受け継がれています。企画展では、このうち、志布氏最後の作品である神輿を展示するとともに、志布氏が生前に愛用していた工具や、神輿のデザイン画なども紹介しています。また、神輿の金具の重さを感じたり、神輿の一部を組み立てたりできる体

験コーナーもあります。

この企画展で、すみだの伝統を創り出した職人や“ものづくりのまち すみだ”の魅力と、伝統の技から生まれた神輿を継承し続けるまちの心意気を感じてみませんか。

### ■企画展示「神輿師・志布景彩」

【開催期間等】▶展示=9月25日(日)まで ▶重さ体験=期間中、随時 ▶組み立て体験=8月14日・21日、9月11日・18日いずれも日曜日

\*詳細は下表のとおり【問合せ】すみだ郷土文化資料館 ☎5619-7034

## 志布氏が造営した神輿を担ぎ続けている地域の方にお聴きしました 50年・100年と、みんなで大切に受け継いでいきたい

近所に神輿師がいるということで、志布さんに神輿の制作を依頼しました。「神輿の通る道が狭いので、そんなに大きな神輿は作れない。」という私たち中凧子特有の悩みを酌んで、限られた寸法の中、大きく立派に見える粋な計らいを随所に取り入れてくれました。

今年のお祭りでは、「私たちが神輿を担ぐことで、東日本大震災で被



鈴木喜孝さん(東向島四丁目在住)

災された方を少しでも元気づけられたら」と、一致団結しました。志布さんの神輿は、まちの気持ちを一つにしてくれる“シンボル”ですね。

志布さんの神輿を選んだのは、志布さんの奥さんが、志布さんの神輿の魅力を熱心に伝えてくれて、心を打たれたからです。実際に出来上がった神輿は期待どおりで、私たち中凧子の自慢の神輿です。

神輿があってこそのお祭りですが、担ぎ手がたくさんいると、さらに盛り上がりますね。今は、若い人たちが中心となって、担ぎ手を増や



内山 将さん(東向島四丁目在住・写真左) 立川誠一さん(墨田一丁目在住・写真右)

そうと奮闘してくれています。神輿は私たちの宝物ですから、若い人たちと協力して、これからも、みんなで大切にしていきたいです。

## すみだ郷土文化資料館で開催中の展示のご案内

### ■特集展示「花火展」

【開催期間】8月28日(日)まで【内容】江戸時代から明治時代までの隅田川花火の様子を伝える、資料館所蔵の錦絵・絵画・古文書の展示

### ■常設展示「東京空襲の体験画」

【開催期間】平成24年3月25日(日)まで【内容】戦争の悲惨さ、平和の大切さを訴えかける体験画の展示

とき	各開催期間中の午前9時～午後5時 *入館は午後4時半まで *毎週月曜日・毎月第4火曜日(祝日のときは翌日)は休館 *8月24日(水)・25日(木)は臨時休館
ところ	すみだ郷土文化資料館(向島2-3-5)
入館料	▶個人=100円 ▶団体(20人以上)=80円 *中学生以下と身体障害者手帳・愛の手帳をお持ちの方は無料
申込み	期間中、直接会場へ

